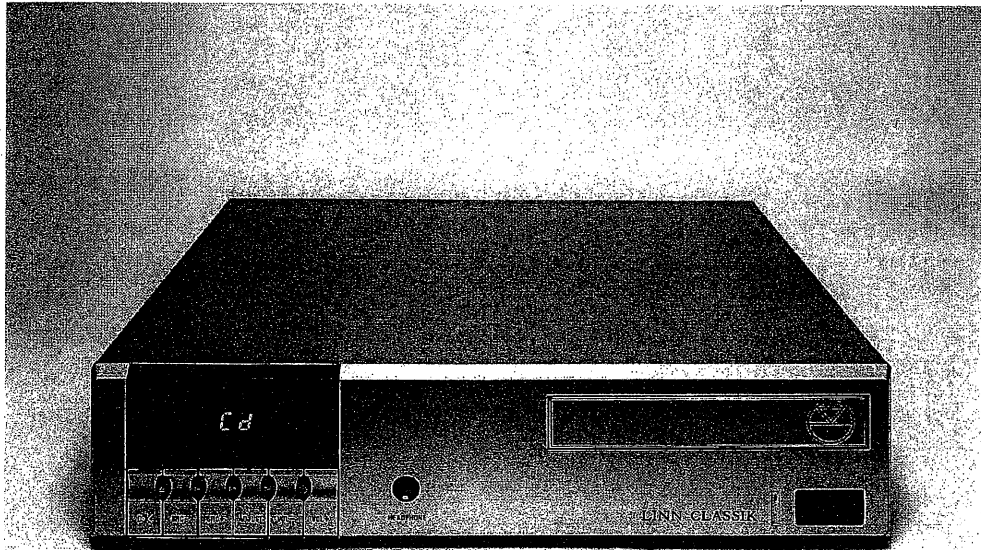


LINN

Classik T



オーナーズマニュアル



目次

	ページ
Classik T について	3
開梱	4
設置場所	4
Classik T の接続	5
チューナー	6
Classik T の使い方	7
フロントディスプレイとキー操作	7
リモコンの操作	7
電源スイッチの ON/OFF	8
CD 機能とディスプレイ表示一覧	8
CD 再生	8
スキップとサーチ	9
ダイレクト選曲	10
リピート機能	11
プログラムモード A, B	12
より高度な CD 機能	14
チューナー コントロール機能	15
マニュアルチューニング	15
サーチ/スキップの切替	16
プリセットの設定	16
信号強度の表示	17
ミュートスレッショルドの設定	17
アンプ コントロール機能	18
録音機能	20
時計の設定	21
アラームの予約設定	22
タイマーの予約設定	23
ユーザー機能の設定	24
CD ご使用に際してのご注意	26
メンテナンス	26
トラブルシューティング	27
アフターサービス	28
仕様	29

Classik T について

この度は **Classik T** をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

Classik T は最良のパフォーマンスを実現するために、それぞれ優れた性能を備えた CD/チューナー/プリ/パワーアンプを使い勝手のよいコンパクトな一体型のボディに納めました。旧型の **Classik** も CD/プリ/メインアンプを一体化したモデルでしたが、その後の技術的革新とノウハウの蓄積により、この新しい **Classik T** ではさらに AM/FM チューナーを追加しラジオ放送も合わせて素晴らしい音質でお楽しみ頂けるようになりました。

Classik T は各々単体の製品に匹敵する優れた CD プレーヤー、チューナー、プリアンプ(コントロールアンプ)、パワーアンプの各コンポーネントを一体化したモデルです。付属の SP ケーブルでスピーカーを接続するだけで、簡単に音楽性豊かな Hi-Fi システムが完成します。再生のクオリティは **LINN** システムならではの、美しい旋律と音程の再現性に優れ、また繊細でありながらも時には非常にパワフルな再生音を楽しませてくれます。

Classik T はそのシンプルなたたずまいにもかかわらず、内部には 4 個のマイクロプロセッサを搭載、多くの機能やユーザー設定、ユニークな使いこなしを可能にしています。

- CD エンジン:** 最新のピックアップとデコーディング技術を活用し高い水準のパフォーマンスを実現。
- AM/FM チューナー:** シンセサイザー方式のローノイズ・チューナーは正確で確実な受信を約束します。
- プリアンプ:** 3 系統のラインレベル入力と 1 系統の録音出力を備え、TV やテープデッキ等との接続もできます。また将来の発展性の為、ボリューム連動のプリアンプ出力も装備。別売のパワーアンプやサブウーハーを追加することにより、**Classik T** のパフォーマンスを一段とグレードアップさせることができます。
- パワーアンプ:** 75W+75W(4Ω 負荷時)の高出力を誇ります。2 組の出力端子は、バイワイヤリング接続や 2 組のスピーカーの接続に利用できます。
- 時計/アラーム/タイマー:** 通常の日覚まし時計やタイマーの代わりとしてお使いいただけます。パワースイッチ連動の AC 出力端子には他のオーディオ機器以外にも、例えばベッドわきのスタンド照明のスイッチを同時に入れることもできます。(最大定格 440W)
- トーンコントロール:** 音質を損ねない微調整トーンコントロール機能は、狭いお部屋や小型のスピーカーをお使いの際、高音や低音を補充することができます。
- テープモニター:** 高級 3 ヘッドテープレコーダーのメリットを活用するテープモニター機能を装備。
- ユニティゲイン:** 外部の AV サラウンド・プロセッサとの接続に便利な、ユニティゲイン機能(ボリュームレベル 80 で固定)を採用。
- ユーザー機能設定:** あなたのご希望に応じて、ユーザー機能設定によるカスタマイズができます。

私たち **LINN PRODUCTS** 社のスタッフは、この一体型でコンパクトな **Classik T** の優れた音楽性と機能性によって、今まで思いもつかなかった豊かな音楽生活をあなたにお楽しみいただきたいのです。

Classik T はどのような場所の雰囲気にもマッチしたものをシリーズ各色のうちから自由にお選びいただけます。

開梱

Classik T の梱包には以下の物が同梱されています。

- リモコン
- 電源ケーブル
- 電源プラグ・アダプター
- 電源スイッチ連動用延長ケーブル
- スペアヒューズ
- スピーカー・ケーブル（2.5 m ペア）
- AM 簡易アンテナ
- FM 簡易アンテナ
- 取扱説明書
- 保証登録書

製品を移動される場合のため、梱包箱は保管しておいて下さい。

- 別売品（専用スピーカープラグ）

電圧設定

100V : 90—110V

(Classik T は LINN PRODUCTS 出荷時、日本の電源専用に製造されています。)

※できるだけアースをお取り下さい。

ヒューズ

ヒューズを交換する際には、正しいヒューズを使用して下さい。

ヒューズホルダーはアンプの後面、電源コネクターの下部にあります。

ヒューズを取り外す際には、まず電源を切ってACコードを本体から抜きます。

マイナスドライバーでホルダーを開き、ヒューズを交換します。再度ヒューズが断線するような場合は機器の故障も考えられますので、すぐに最寄の販売店にご相談下さい。

設置場所

お客様の使いやすいところに設置いただけますが、下記の点にはご注意下さい。

本体は他の製品の上に重ねて置くこともできますが、パワーアンプ等、特に熱を発生する機器の上では周りの空気が十分に循環するように心がけて下さい。

リモコン使用上のご注意

高感度なりモコン受信機能により、お部屋のどこにでも設置していただけますが、例外としてフロントパネルのリモコン受光部に直射日光、インバーター式の蛍光灯やハロゲンランプなどの直射照明が当たるような所は避けて下さい。

一般的に、リモコン対応の各種機器は上記のような場合にリモコンの動作障害を起こす事がありますのでご注意下さい。詳しくは当社サービスまでお問い合わせ下さい。

Classik T の接続

警告：

各種配線は必ず電源を切った状態で行って下さい。電源が入った状態での配線処理は場合により、非常に強い電流が流れて製品を破損させることがあります。この場合は保証の対象となりませんのでご注意下さい。

Classik T を単体でお使い頂く場合、同梱の FM、AM 簡易アンテナを各々の入力端子に、またアンプのスピーカー出力端子と左右のスピーカーを同梱のスピーカー・ケーブルで接続するだけで使用できます。スピーカーは最大 4 台まで接続可。

リアパネルの入力機器用、接続端子。

FM アンテナ

T 型 FM 専用の室内簡易アンテナ（付属）、本格的な FM 専用の外部アンテナ、TV 用の外部アンテナ、TV 用共同アンテナなどの同軸入力端子。

AM アンテナ

室内簡易ループアンテナ用入力端子

AUX

各種入力機器との接続端子。（例：AV プロセッサー、TV 等）

TAPE 1

テープデッキの入力端子。（再生専用）

TAPE 2

テープデッキの入・出力端子。（録音／再生用）

PRE OUT

外部パワーアンプやサブウーファー用の出力端子。メイン・ボリュームと連動。

Speaker Outputs

バイワイヤリングで 1 ペア、またはシングルワイヤリングで 2 ペアのスピーカーまで接続。

Auxiliary switched output.

Classik T の電源スタンバイ ON/OFF に連動する 100V 電源用の出力端子。

電源スタンバイやタイマー設定により、接続した電気機器や電化製品とも連動させることができます。（例：照明器具、映像機器、電動カーテンなど、最大定格 440W）

電源

電源ケーブルはできるだけアースの付いたコンセントをご利用下さい。

チューナー

LINN Classik T のチューナーは比較的、電波の弱いエリアでも素晴らしい音をお楽しみいただけるように設計されています。

放送局の送信エリアであれば、ほとんどの局で優れた受信が可能です。

ラジオ放送の音質の良否はいくつかの要素によって左右されます。

- 受信感度が低い場合。バックグラウンド・ノイズやヒス・ノイズの原因となります。
- 受信周波数の近辺に電波障害がある場合。バズやピーというノイズの原因となります。
- 電波の強い局が受信局のごく近くに隣接する場合。音が割れたり混信の原因となります。
- 受信したい放送局の電波の到達ルートが複数ある場合(障害物の影響によるマルチ・パス)。ひどい歪や不規則な音の途切れの原因となります。

AM 放送の受信について

放送局アンテナの送信サービスエリア内であれば、ほとんどの放送局は付属のループアンテナで良好な受信がお楽しみいただけます。AM 放送の音質の良し悪しは前述の通りほとんどの要素が周辺の電波ノイズや放送局の音質レベルによるものです。AM 放送の再生帯域は電話音声の帯域よりもほんのわずかに広い程度ですので、例えば CD のような高音質は望めません。受信状態はその日の時間帯によっても大きく異なります。遠隔地の受信であれば深夜がもっとも良いでしょう。

シグナル感度表示が 30 まで示せば、十分な感度レベルです。より高い感度表示が得られたとしても、もともとノイズが放送自身にも多く含まれていますので、音質的な変化は少ないでしょう。持続的なノイズが続く場合には、ループアンテナを回転させたり、金属性の障害物、特にテレビなどからは出来る限り離して下さい。ノイズが他の電化製品からの影響を受けている場合(洗濯機、コンピューターなど)、有効な対策は唯一、ノイズのもとを絶つことです。それらの機器を電源フィルター付きのコンセントタップなどから電源供給してみることも一案です。それでもノイズの改善が出来ない場合、このノイズは電波シグナルと共に受信しているものと考えられ、実質上の対策はありません。

FM 放送の受信について

シグナル感度の高い FM の受信は、ほとんど可聴できないほどの低いレベルのバックグラウンド・ノイズ特性や広い周波数帯域と低歪率によって、素晴らしい音質をもたらします。

その日の時間帯やアナウンサーが異なっても、各放送局で使用している放送機器の違いまでもが、まるで手にとるようにわかるほどです。FM 放送の音質は放送局の送信や受信状態よりも、よりラジオ放送の制作クオリティーと内容にかかっていると言えるでしょう。

最善の受信は FM 専用のアンテナを屋外に設置することです。付属の FM 用 T 型アンテナは T 文字の上部分の方向にわずかに指向特性のある優れたアンテナです。より良い結果が出るようにアンテナを回転させたり、金属性のシャーシーなど、特にテレビから出来る限り離して取り付け調整して下さい。マンションなどではテレビ用の共同アンテナからの受信でも良い結果が得られることがあります。また、ほとんどの放送局のシグナル感度が 50 を示すような強電界の地域では場合によっては入力オーバーのケースも考えられます。その場合は簡単なアンテナ用アッテネーターで減衰させて下さい。初めに 10 dB タイプから、それでも変化がなければ 20 dB タイプをお試しになるか、付属のアンテナならば長さを半分にしてゲインを下げてみて下さい。詳しくは最寄りの LINN 専門店にお尋ね下さい。

Classik T の使い方

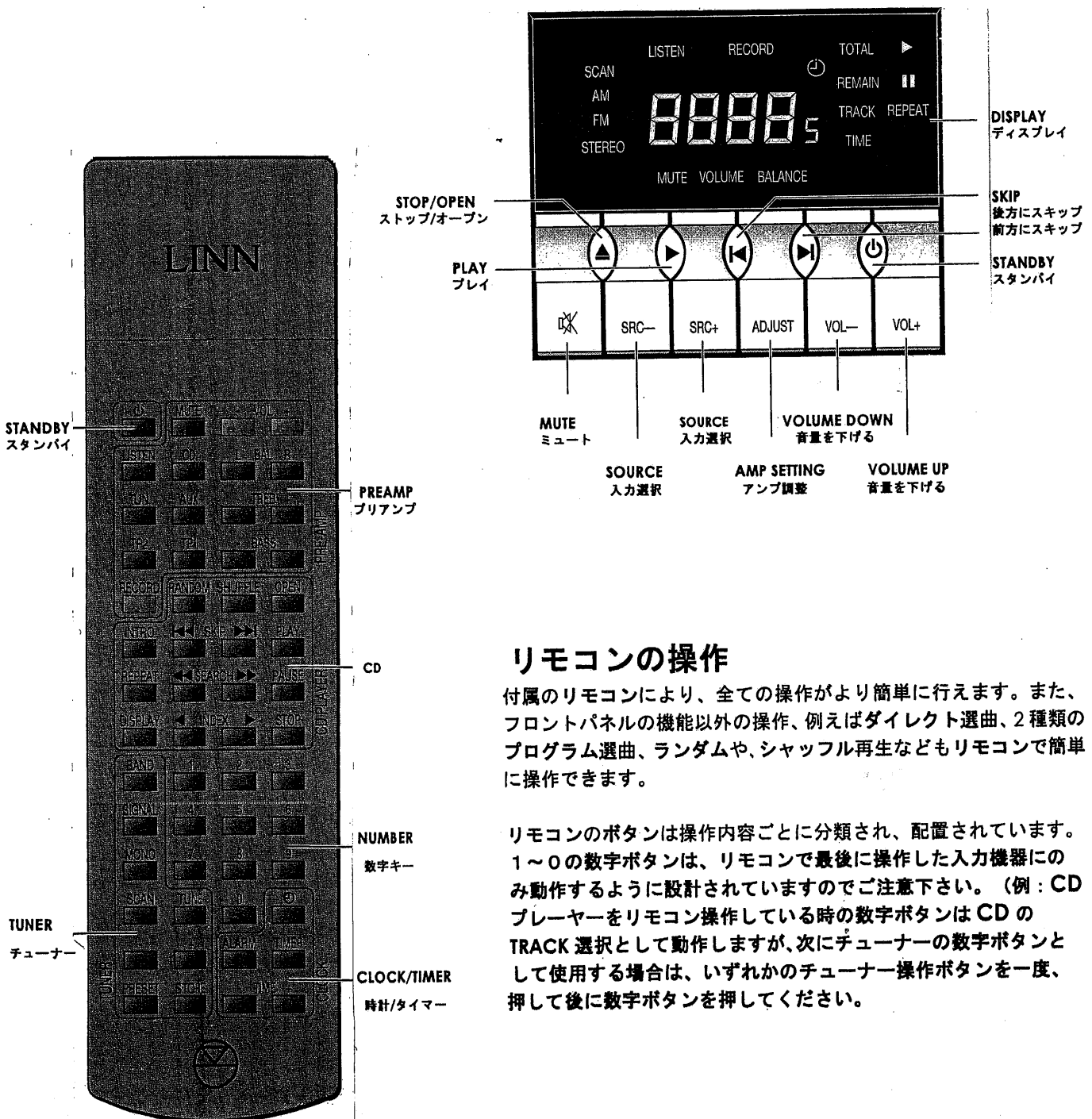
シンプルな操作をお望みの方は、なるべくリモコンをご利用ください。

フロントパネルの使用

Classik T はシンプルな操作という点にポイントを置かれて設計されています。フロントのディスプレイは現在の動作状態を表示します。

多くの洗練された機能の中でも、特に使用頻度の高いものはフロントパネルのキー操作1~2つによって行えますが、設計上、フロントパネルのキーの数を最少にとどめる為、チューナーの操作キーにはCD用のもの、トーンコントロール用キーにはボリューム用キーを併用しています。シンプルな操作をお望みの方は、なるべくリモコンをご利用下さい。

Classik T のディスプレイとキー操作

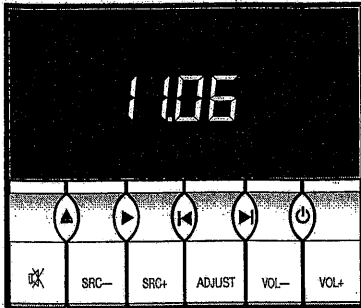


リモコンの操作

付属のリモコンにより、全ての操作がより簡単に行えます。また、フロントパネルの機能以外の操作、例えばダイレクト選曲、2種類のプログラム選曲、ランダムや、シャッフル再生などもリモコンで簡単に操作できます。

リモコンのボタンは操作内容ごとに分類され、配置されています。1~0の数字ボタンは、リモコンで最後に操作した入力機器のみ動作するように設計されていますのでご注意ください。(例: CDプレーヤーをリモコン操作している時の数字ボタンはCDのTRACK選択として動作しますが、次にチューナーの数字ボタンとして使用する場合は、いずれかのチューナー操作ボタンを一度、押して後に数字ボタンを押してください。)

電源スイッチの ON/OFF と演奏



1. フロントパネルの電源スイッチを入れます。
2. ディスプレイに時刻が表示されます。
(後述の時計とアラーム、タイマー機能のページを参照して時刻と曜日を設定して下さい。立ち上げる際の表示設定はユーザー機能設定のページを参照して下さい。)
3. リモコンのいずれかのボタンまたはディスプレイのキーを押してアンプをスタンバイモードから立ち上げます。
4. 入力ソースを選んで演奏を開始します。
5. 演奏を休止する時はリモコンのスタンバイボタンを押してスタンバイモードに入ります。



Classik T には、テレビや電子レンジなどの家庭用機器と同様、消費電力の少ない便利なスタンバイ機能が備わっています。通常の使用時はメインパワーボタンをその都度切らずに、スタンバイボタンによって ON/OFF 操作ができます。(25 ページ：ユーザー機能の設定を参照)

CD ディスプレイ表示一覧

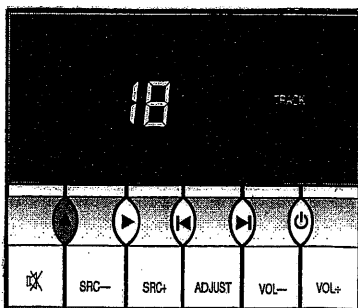
ディスプレイ表示の選択は、リモコンの DISPLAY ボタンを押します。

CD 演奏時のディスプレイ表示

表示 例	ディスプレイ	右側表示	動作 / 内容
Track Index			
12 1	TRACK		演奏中/その曲のトラック・インデックス番号
00	TRACK		ディスクが入っていない状態
12	TRACK		停止状態
76.54	TOTAL TIME		停止状態/ディスクのトータル演奏時間
12.34	TRACK TIME		演奏中の曲の経過時間
12.34	REMAIN TRACK TIME		演奏中の曲の残り演奏時間
12.34	TOTAL TIME		ディスク 1 曲目からのトータル経過時間
12.34	TOTAL REMAIN TIME		ディスクの残り演奏時間

DISPLAY

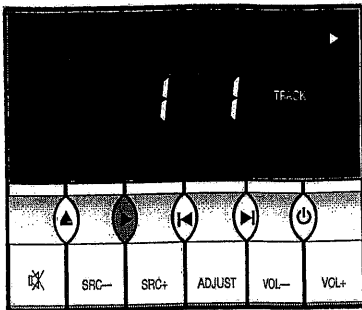
CD の再生



リモコンの CD ボタンまたはフロントパネルの SRC-、SRC + キーで(入力切替キー: Cd ⇒ tu ⇒ Au ⇒ t1 ⇒ t2 ⇒ Cd の順に表示を変える)で CD を選択します。

トレイは OPEN ボタンで開閉、ディスクを入れます。OPEN ボタンをもう一度押すかトレイを直接、軽く押してトレイを閉じます。

CD
OPEN

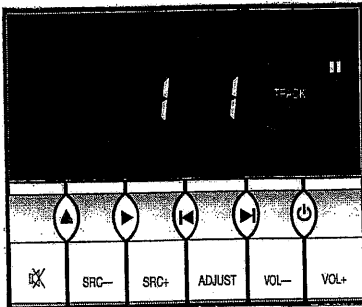
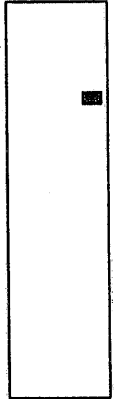


PLAY ボタンで演奏を開始します。

トレイが開いた状態から直接 **PLAY** ボタンを押すとトレイが閉じると同時に演奏を開始します。

ディスプレイ表示の変更は前ページを参照しながら、希望の表示が得られるまで **DISPLAY** ボタンを数回押します。

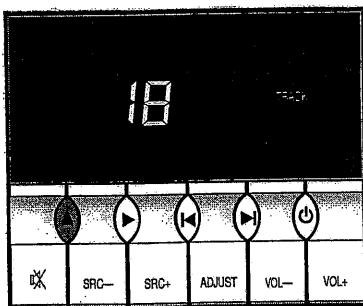
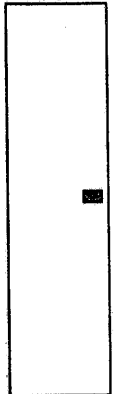
PLAY



PAUSE ボタンで演奏は一時停止します。

もう一度 **PAUSE** ボタンか **PLAY** ボタンを押すと演奏を再開します。

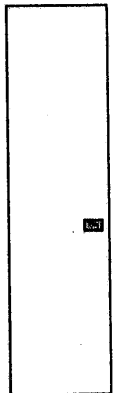
PAUSE



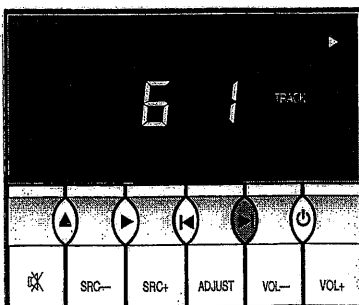
STOP ボタンで演奏を停止します。

停止状態のディスプレイにはディスクの総収録曲数が表示されます。

STOP

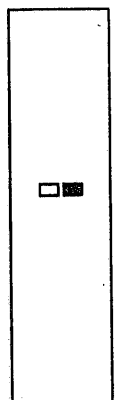


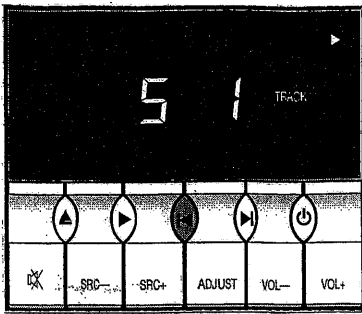
スキップとサーチ



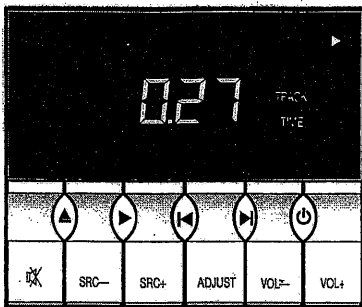
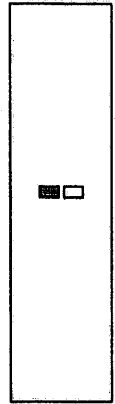
SKIP >> | ボタンでつぎの曲の始めにスキップします。

| << **SKIP** >> |

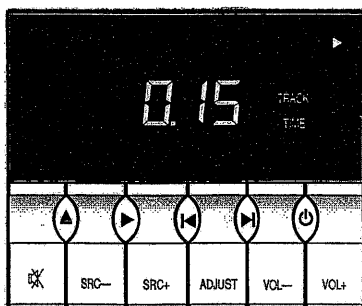
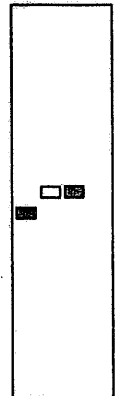
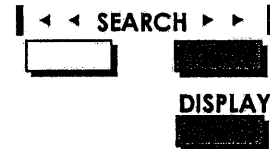




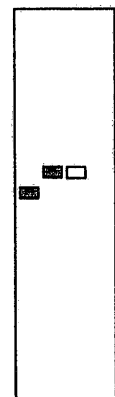
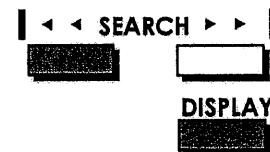
SKIP | ◀ ◀ ボタンを一度押すと演奏中の曲の始めに戻ります。続けてもう一度押すと、その前の曲、2度押すとその前の曲へスキップします。



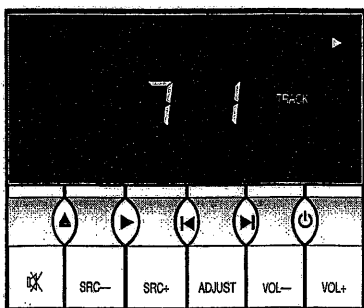
SEARCH ▶ ▶ ボタンで前方へのサーチを行います。時間の詳細を表示するには、**DISPLAY** ボタンを押します。



SEARCH ◀ ◀ ボタンで後方へのサーチを行います。時間の詳細を表示するには、**DISPLAY** ボタンを押します。



ダイレクト選曲



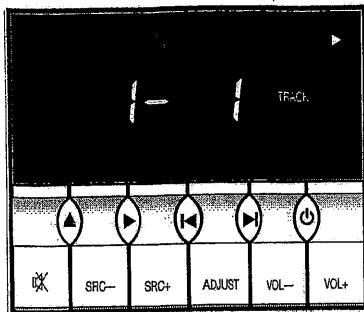
この機能は、CD 再生中や停止中、またはトレイが開いている状態で操作します。

選択したい曲番号を数字ボタンで選択。CD は自動的にその番号から演奏を開始します。

ご注意：トラック番号が正しく選択されない場合は一度、リモコンの **PLAY** ボタンを押してから再度、選択したい曲番号を押します。

例： 7

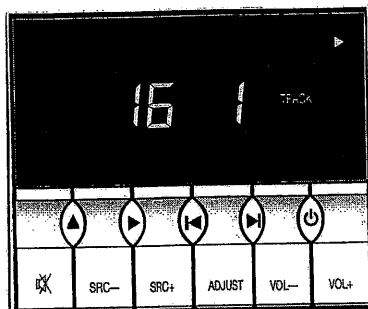




2桁(10~99)の番号を選択する場合は、まず10の位の数字を2~3秒押し続けます。はじめの数字が左(10の位)に移動すると右側に一が点滅表示されます。



例： 1

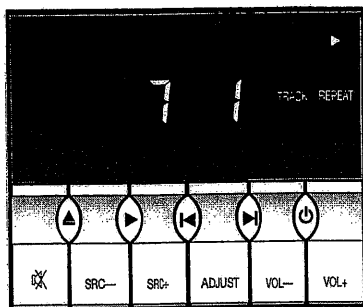


つぎに1の位の数字を押します。選択された番号の曲の演奏が開始されます。



例： 6

リピート(反復再生) 機能

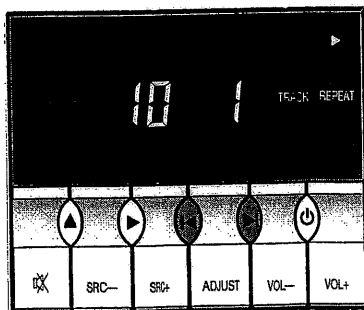


リモコンの REPEAT ボタンを押します。演奏中のディスク全体をリピート再生します。

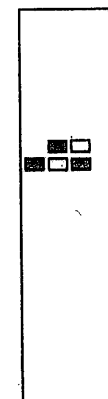
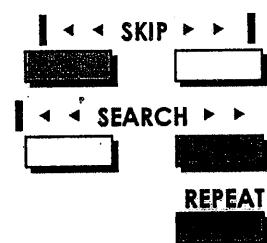
区間リピート再生の場合は、曲の開始ポイントで上記と同様に REPEAT ボタンを1度押します。

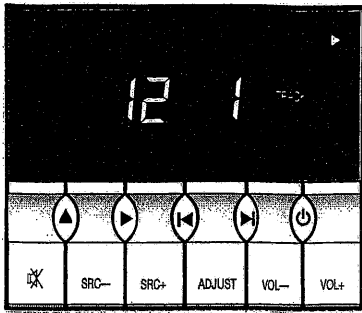


REPEAT



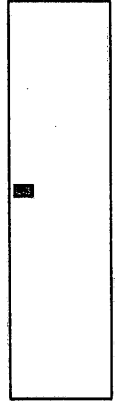
つぎに SKIP ボタンまたは SEARCH ボタンで、区間リピートの折り返しポイントを表示させた上で、もう一度 REPEAT ボタンを押して確定します。



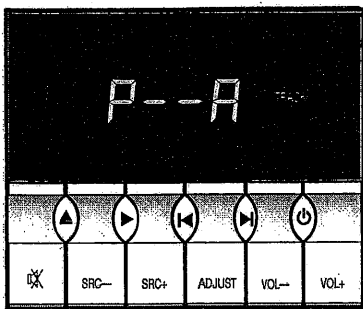


リピート設定の解除は **REPEAT** ボタンをもう一度押します。

REPEAT

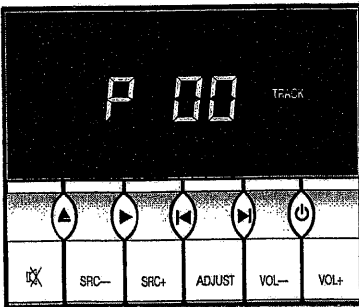
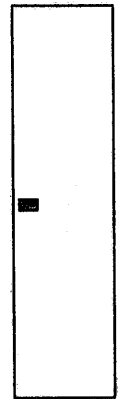


プログラムモード A (演奏したい曲のみを選んで再生する)

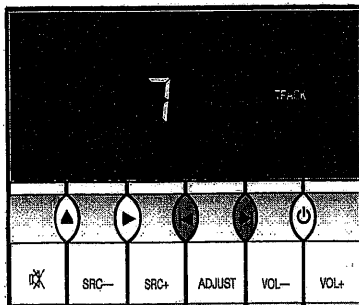


プログラムモード A は選択した曲をその順序に従って再生します。ディスクをプレーヤーに入れ、ディスプレイがディスクの総収録時間、続いて総曲数を表示するまで待ちます。つぎにリモコンの **DISPLAY** ボタンを長めに押し続けるとディスプレイに **P -- A** と表示されます(そのまま押しつづけるとプログラムモード B に変わります)。やり直すには **OPEN** ボタンで一度トレイを開閉します。

DISPLAY



ディスプレイの表示は **P - b** ⇒ **P - 00** に変わりプログラムの入力を開始します。

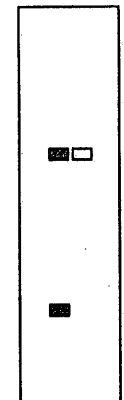


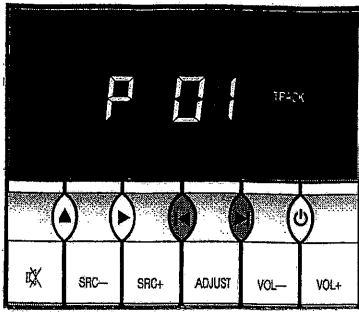
① 再生したい曲番号を **SKIP** ボタン、または数字ボタンで選択します。



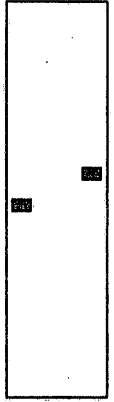
例：

7

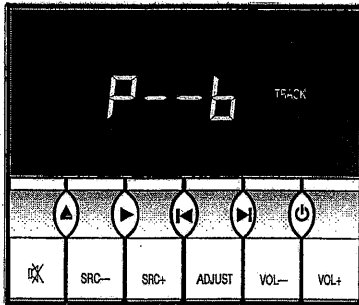




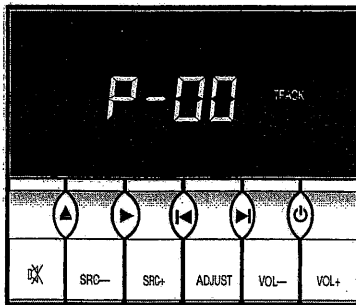
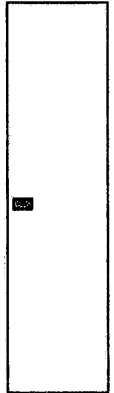
② リモコンの **DISPLAY** ボタンで選択した番号を確定します。ディスプレイには **P-01** と表示されます。上記の①と②を繰り返すことによって他の曲も続けて入力設定できます。設定が終了したら **PLAY** ボタンで演奏を開始します。このプログラムはトレイの開閉によって解除されます。



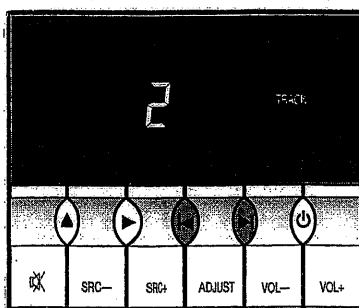
プログラムモード B (削除したい曲を除いて再生する)



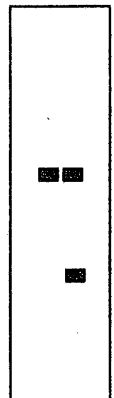
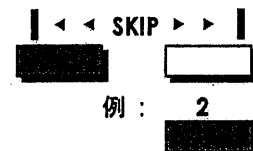
ディスクをプレーヤーに入れ、ディスプレイがディスクの総収録時間、続いて総曲数を表示するまで待ちます。つぎに2秒間ほどリモコンの **DISPLAY** ボタンを長めに押し続けるとディスプレイに **P-b** が表示されます。やり直すには **OPEN** ボタンでトレイを一度開閉します

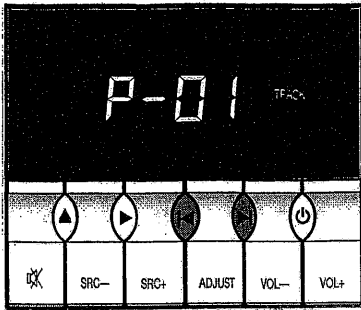


ディスプレイの表示は **P-b** ⇒ **P-00** に変わりプログラムの入力を開始します。



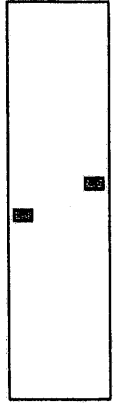
① 削除したい最初の曲を **SKIP** ボタン、または数字ボタンで選択します。



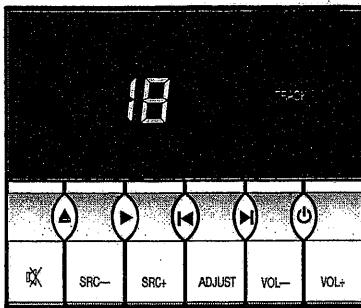


② リモコンの **DISPLAY** ボタンで選択した番号を確定します。ディスプレイには **P-01** と表示されます。上記の①と②を繰り返すことによって他の曲も続けて入力設定します。設定が終了したら **PLAY** ボタンで演奏を開始します。このプログラムはトレイの開閉によって解除されます。

DISPLAY
PLAY



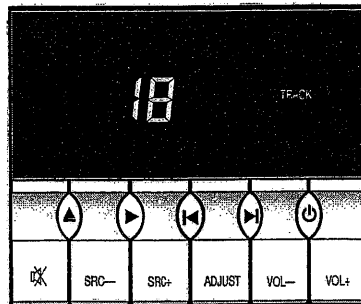
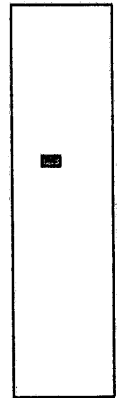
より高度な CD 機能



ランダム・モード

曲をランダムに繰り返して連続演奏します。
CD 演奏中、演奏停止中、トレイが開いた状態から、**RANDOM** ボタンでスタートします。
自動設定から演奏開始まで数秒かかりますので、しばらくお待ち下さい。

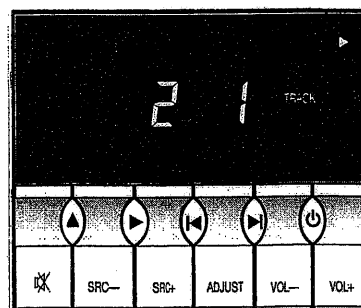
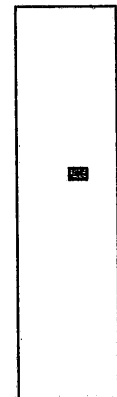
RANDOM



シャッフル・モード

曲をランダムに一度ずつ演奏します。
CD 演奏中、演奏停止中、トレイがオープンの状態から、**SHUFFLE** ボタンでスタートします。
自動設定から演奏開始まで数秒かかりますので、しばらくお待ち下さい。

SHUFFLE

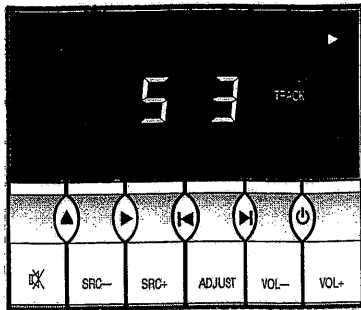


イントロスキャン・モード

各曲を最初の10秒ずつ続けて再生するモードです。
INTRO ボタンでスタートします。イントロスキャン中に演奏中のトラックをそのまま続けて聴くには **PLAY** ボタンを押します。

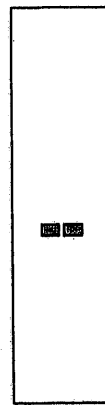
INTRO
PLAY



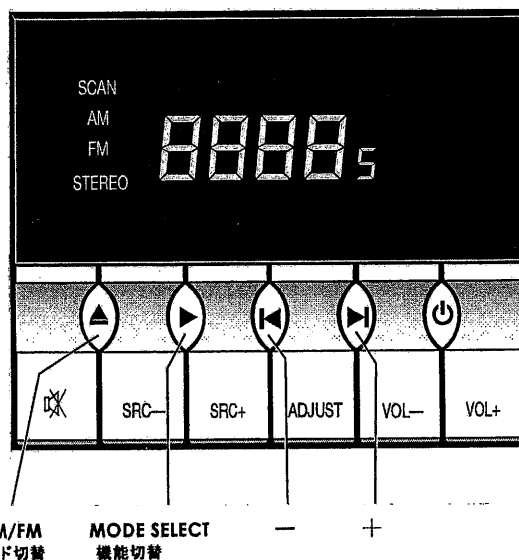


インデックスの選択

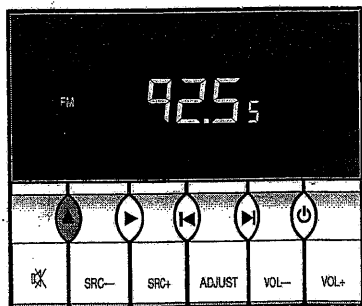
クラシック音楽のディスクには、各楽章の最初を選択し易くするために、インデックスポイントを設定しているものがあります。**INDEX** ボタンで選択します。



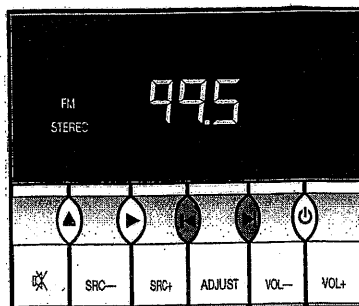
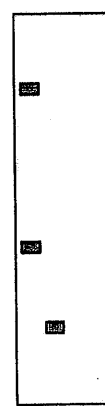
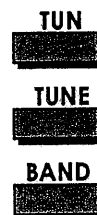
チューナー コントロール機能



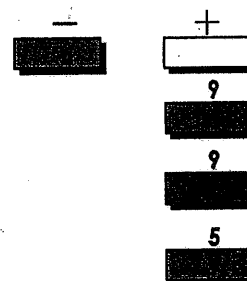
マニュアル チューニング



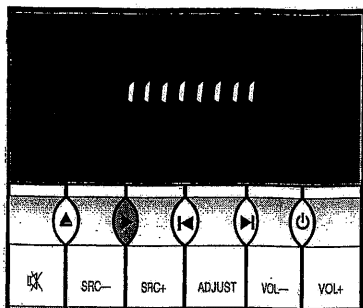
リモコンの **TUN** ボタンまたはフロントパネルの **SRC-**、**SRC +** キー(入力切替キー)でチューナー再生を選択します。つぎに **TUNE** ボタンで、チューニングモードを選択。
FM/AM の切替は **BAND** ボタンで行います。



選びたい放送局の周波数をチューナー用 **-**、**+** ボタンによる早送り、早戻し、または数字ボタンで選局します。

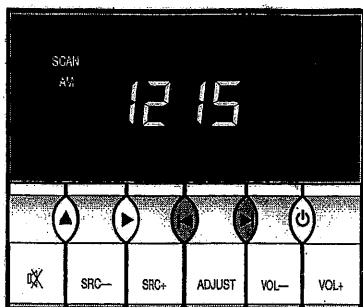


サーチ/スキャンモードの切替



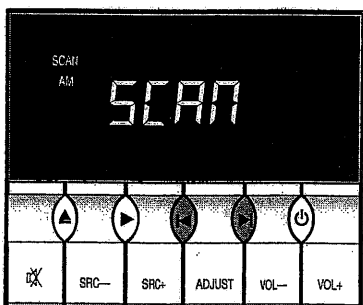
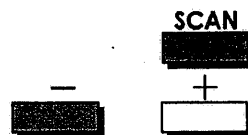
リモコンの **SCAN** ボタンを長めに押し続け、大きな **Srch** (サーチ) 表示または **SCAN** (スキャン) 表示をディスプレイ中央に確認します。**Srch** 表示が出た場合、もう一度 **SCAN** ボタンを長めに押し続けると今度は **SCAN** 表示となり、**SCAN** ボタンによる 2 通りの動作方式を交互に選択できます。

注：ボタンを長めに押し続けることによる設定変更には、ディスプレイに設定の変更処理中を表すバーコードが一時的に表示されます。



サーチモード

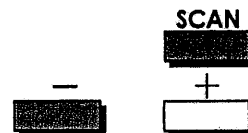
SCAN ボタンとチューナー用 **-**、**+** ボタンで後述のスレッシュホールド設定値よりも高感度な受信局のみの検出を 1 局ずつ進めます。複数の周波数で同一の放送が受信できる場合に、聴感上最も良好な局をじっくりと聴いて選ぶのに便利です。



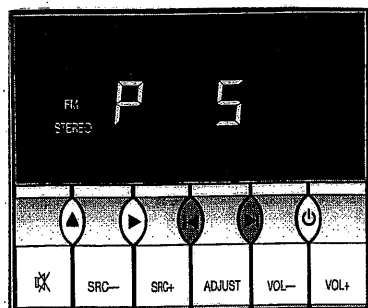
スキャンモード

サーチと同様、検出した局を 5 秒間ずつ演奏しながらつぎの局に自動的に移っていきます。現在、どの局でどのような放送をしているのかを素早くチェックするのに便利です。

リモコンのチューナー用 **-**、**+** ボタンを一度押すだけで受信局を 5 秒間ずつ自動検出します。

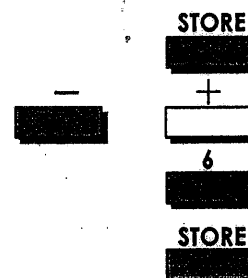


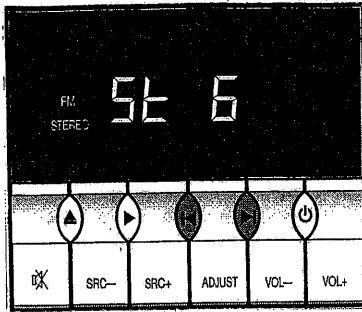
プリセットの設定



保存したい放送局の周波数をプリセット。最初に放送局を上記の要領でディスプレイに表示し、リモコンの **STORE** ボタンを一度押します。自動的に未設定のプリセット番号を表示します。

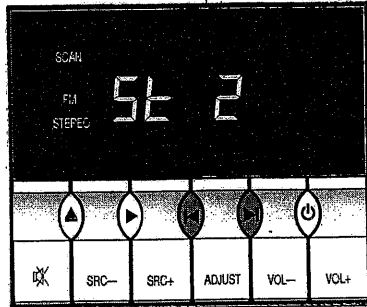
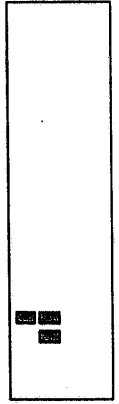
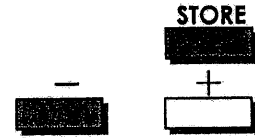
異なるプリセット番号を指定する場合はチューナー用 **-**、**+** ボタンで番号を選び、もう一度 **STORE** ボタンを押して確定します。





自動プリセット

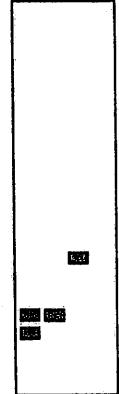
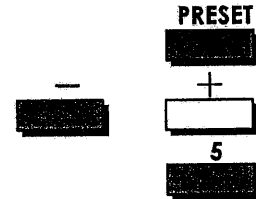
リモコンの **STORE** ボタンを一度押します。つぎにもう一度 **STORE** ボタンを長めに押し続けて自動プリセットを開始。自動プリセットは 5 秒毎につきの局へとスキップしながら設定を繰り返します。各局、五秒間の再生を早めに切上げてプリセットに追加する局にはチューナー用 **+** ボタンを、削除する局には **-** ボタンを押します。



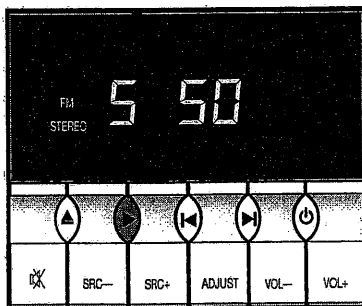
プリセット設定した局を呼び出す。

リモコンの **PRESET** ボタンを押し、選みたい放送局のプリセット番号を チューナー用 **-**、**+** ボタンによる早送り、早戻し、または数字ボタンで選局します。

PRESET を消去するには、その番号を表示させた上で **PRESET** ボタンを長めに押し続けて **Clr** を表示、その番号を消去します。



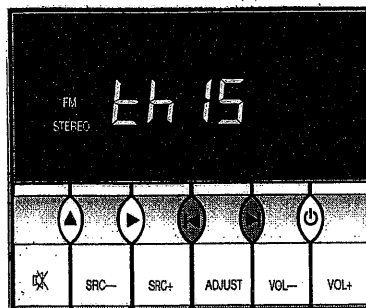
その他のチューナー機能



信号強度の表示

リモコンの **SIGNAL** ボタンまたは、フロントパネルの **MODE SELECT** キーを押して表示します。

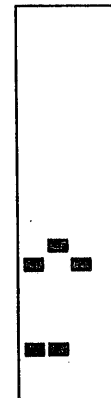
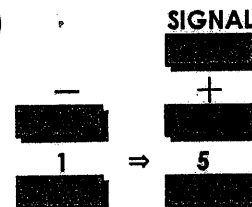
信号強度は 0~50 の範囲で表示され、50 がもっとも強い受信強度を示します。この表示はアンテナ設置の際にも有効です。(表示例：S 50 はシグナルレベル 50 を表します。)

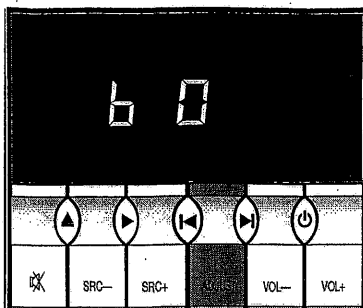


ミュートスレッショルドの設定

スキャン、サーチの際、設定以下の弱い信号の放送局を選択しない機能です。**SIGNAL** ボタンを一度押し、つぎにもう一度、長めに押し続けてディスプレイに **th** を表示させます。レベル 1 (最弱の信号から受信)~50 (最強の信号のみを受信)までの値をチューナー用 **-**、**+** ボタンまたは数字キーで設定します。

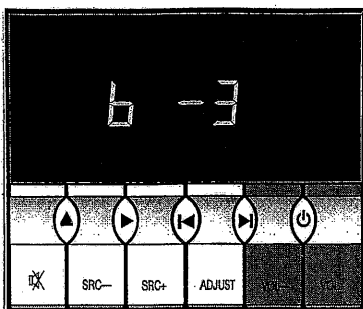
(表示例：th 15 はレベル 15 を表します。)



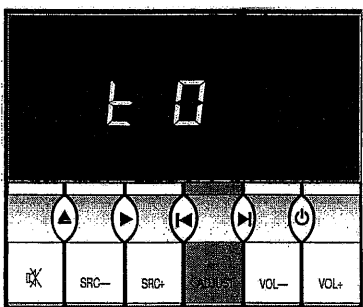


トーンコントロール（低音の調整）

リモコン操作では、**BASS** の **-**、**+** ボタンで調整します。
 フロントパネル操作時のみ **ADJUST** キーを何度か押して、左図のディスプレイを表示させます。

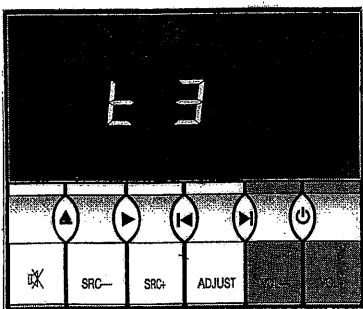
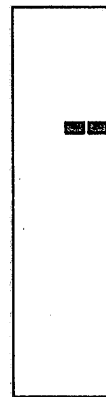


フロントパネルでは **VOL-**、**VOL+** ボタンを押します。
 (例：ディスプレイ表示は低音を3ポイント低減した状態です。)

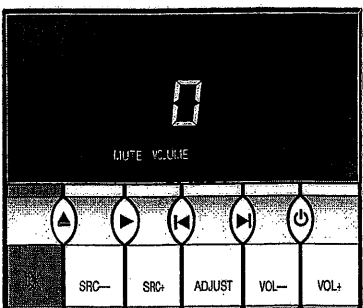


トーンコントロール（高音の調整）

リモコン操作では、**TREB** の **-**、**+** ボタンで調整します。
 フロントパネル操作時のみ **ADJUST** キーを何度か押して、左図のディスプレイを表示させます。

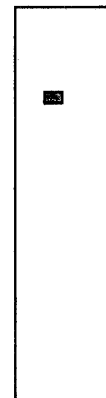


フロントパネルでは **VOL-**、**VOL+** ボタンを押します。
 (例：ディスプレイ表示は高音を3ポイント増幅した状態です。)



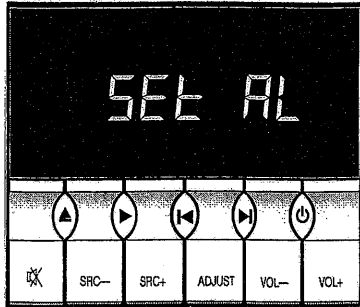
ミュート（一時的に音を止める）

MUTE ボタンで音を消します。もう一度押して、もとの音量に復帰します。

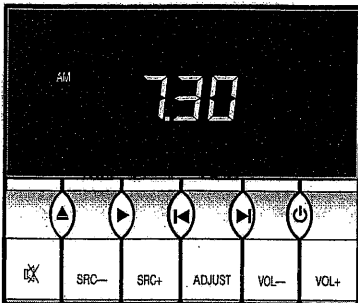
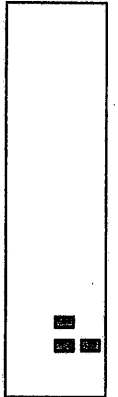


アラームの予約設定 (スタート・タイマー)

アラーム予約には事前に時計の時刻や曜日を合わせておく必要があります。アラーム機能により、予約設定した時刻に再生をスタート。日～土曜日まで個別に **On**、**OFF** を設定できます。

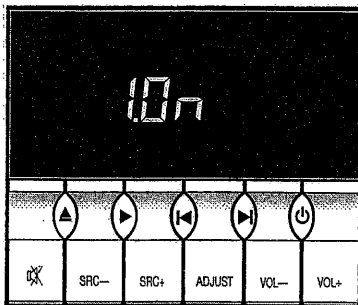
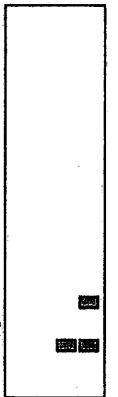
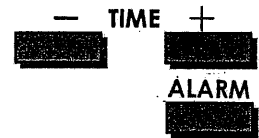


はじめにリモコンの **ALARM** ボタンを長めに押し続け、ディスプレイに **Set AL** ⇒ 「時」の数字が点滅、アラーム時間の設定に入ります。(設定は現在時刻の設定と同様、すべて **TIME** の **-**、**+** ボタンで入力、**ALARM** ボタンで確定します。入力の順序は「時」⇒「分」⇒ 入力ソース(内蔵CDを選ぶとは t? <トラック番号>、**TUNER** は P? <プリセット番号>の指定) ⇒ 音量 ⇒ 「曜日」の順に点滅する項目を設定します

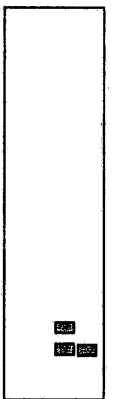
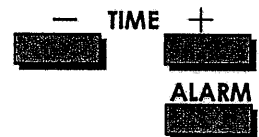


TIME の **-**、**+** ボタンで「時」(例: 7時)を入力し、**ALARM** ボタンで確定、「分」(例: 30分)も同様に設定します。つぎに入力ソースの選択表示となり、同様に **TIME** の **-**、**+** ボタンで選択、**ALARM** ボタンで確定します。**CD** では希望のトラック番号、チューナーではプリセットした放送局も、つぎに音量も同じ **TIME** の **-**、**+** ボタンで設定し、**ALARM** ボタンで確定します。

(例: 7時30分)



その後、表示は各曜日のアラーム **On**、**OFF** 選択の点滅表示へと変わり、1.(日曜日)~7.(土曜日)まで順に **TIME** の **-**、**+** ボタンと **ALARM** ボタンで **On**、**OFF** と「曜日」を選択し最後に **AL On**(アラーム **On**) ⇒ 現在時刻の表示となって設定を完了します。



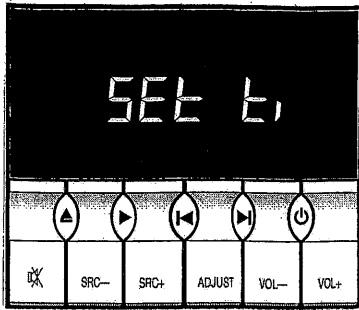
例: 曜日別に **On**、**Off** を設定

1. **Off** 日曜日
2. **On** 月曜日
3. **On** 火曜日
4. **On** 水曜日
5. **On** 木曜日
6. **On** 金曜日
7. **Off** 土曜日

注意: スタンバイモード時にアラームが正しく設定されている場合、ディスプレイの時刻表示の右上に時計マークが表示されます。正しく設定されていないとこのマークは表示されません。その時はもう一度初めからやり直して下さい。

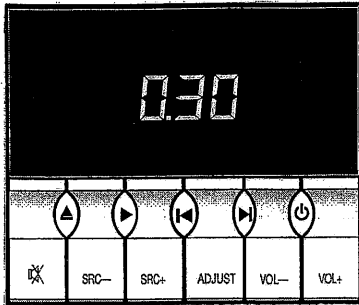
アラーム機能は設定した曜日と時刻に音楽やラジオをスタートするだけでなく、アンプ後面の **AC OUTLET** より付属のコードを利用して、他の機器も同時に連動スタートさせることができます。

(例: 月曜日から金曜まで、毎朝のお目覚めにお気に入りの **CD** やよく聞く **NHK FM** を 7時20分から目覚めに音楽をスタート。ついでにスタンドの明かりを点灯させる等。土曜、日曜はアラームを **OFF** 設定、ゆっくりお休みになれます。注: 最大定格: 440W)

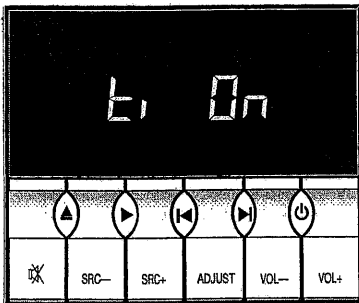
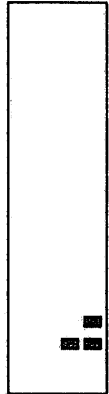
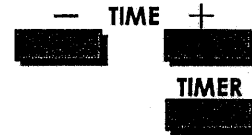


タイマーの予約設定 (オフ・タイマー)

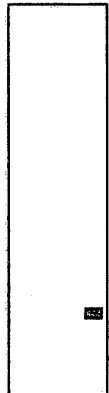
お休み前の自動オフタイマーとしてご利用いただけます。
リモコンの **TIMER** ボタンを長めに押し続け、ディスプレイに **SET t** を表示させます。



TIME の **-**、**+** ボタンで演奏終了までの時間を5分刻みに最長2時間までの範囲で設定、**TIMER** ボタンで確定します。
(例：ディスプレイの表示は30分オフ・タイマー設定)

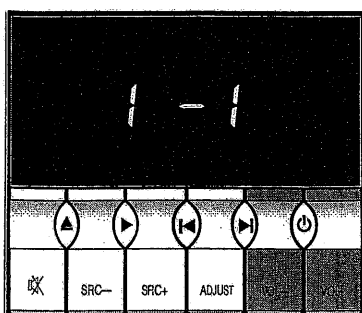


オフ・タイマーが設定されました。オフ・タイマーの **On**、**OFF** は **TIMER** ボタンで行います。



注意：スタンバイモード時にオフタイマーが正しく設定されている場合、ディスプレイの時間表示の右上に時計マークが点滅します。正しく設定されていないとこのマークは表示されません。その時はもう一度初めからやり直して下さい。

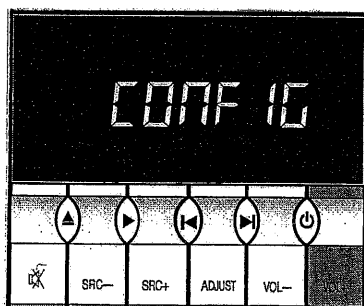
ユーザー機能の設定



設定方法

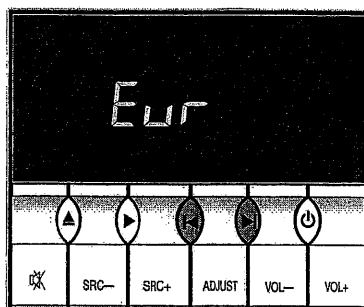
ディスプレイの **VOL-**、**VOL+** キー操作で設定します。
リモコンでは設定できません。一度電源スイッチを切ってから本体ディスプレイの **VOL-** キーを押しながら再度、電源スイッチを入れます。ディスプレイに左図のような表示が現れるまで **VOL-** キーを 12~15 秒間ほどそのまま押し続けると、ディスプレイに **1-1**(または **1-0**)と左図のように表示されてユーザー機能の設定表示となります。

VOL- キーでユーザー機能の番号(ディスプレイ左側の数字)を、
VOL+ キーはその設定内容(ディスプレイ右側の数字)の変更を行います。
VOL- キーを 5 秒以上押し続けると、設定モードを終了します。



工場出荷時の初期設定に戻す (Default)

一度電源スイッチを切ってから本体ディスプレイの **VOL+** キーを押しながら再度、電源スイッチを入れます。**VOL+** キーを 12~15 秒間ほどそのまま押し続けると、左図のように **CONFIG** ⇒ **8888** ⇒ **Country?** ⇒ **Eur** と表示されます。



Eur がディスプレイ表示されたら **◀** キーを一度押して表示を **Eur** ⇒ **JAP** に変更し、最後に **VOL+** キーを押して変更内容を保存します。

F M 周波数を日本仕様に再設定

(本機をメーカー出荷時の設定に戻した場合、初めにヨーロッパ仕様の設定が表示されます。使用前に必ず上記のように日本仕様に再設定してからご使用下さい。)

ユーザー機能の設定

設定変更の方法は前ページを参照して下さい。

選択番号のアンダーラインは工場出荷時の初期設定です。

設定表示	選 択	設 定 内 容
1-0	切替える	操作 20 秒後、自動的にディスプレイをスリープ表示に切替える
<u>1-1</u>	切替えない (一部の製品は <u>1-0</u> 設定)	
2-0	" ... "	スタンバイ時のディスプレイ表示
<u>2-1</u>	時計表示	
2-2	時計・次回アラーム設定日	
<u>3-0</u>	12 時間表示	時計の表示形式
3-1	24 時間表示	
<u>4-0</u>	スタンバイモード	電源投入時の動作状態 4-1 を選択した場合、電源を切る直前の入力ソースを選択する
4-1	直ちに動作開始する	
<u>5-0</u>	CD を自動選択する	4-1 を選択した場合、CD を自動的に選択し再生開始する
5-1	選択しない	
<u>6-0</u>	保存する	電源を切る直前の CD 再生状態を保存する (例：最後に再生した曲番号、ディスプレイモード、再生、停止、ポーズなどの状態)
6-1	保存しない	
<u>7-0</u>	各入力に共通設定する	電源投入時のメモリー機能設定 (ボリューム、バランス、トーンコントロールの設定)
7-1	各入力を個別設定する	
<u>8-0</u>	保存する	電源を切る直前のアンプの使用状態(入力ソース、ボリューム、バランス設定、録音経路など)を保存
8-1	初めの設定に戻る	
<u>9-0</u>	ゆっくり	入力ソース変更時のミュート(自動的にボリュームを下げる) 動作のスピード設定
9-1	中間	
9-1	はやい	
<u>10-0</u>	設定しない	AUX 入力時に設定可能な AV アンプ等用のユニティゲイン(ボリューム・レベルを 80 で固定)
10-1	設定する	
<u>11-0</u>	マニュアル	マニュアル：アラームによる再生時のボリューム、入力ソース (CD 選択ではトラック番号、チューナーではプリセット番号も設定可)をアラーム設定時に設定 オート： ボリュームや入力ソース設定を前回の電源を切る直前の状態で再生
11-1	オート	

メンテナンスとトラブルシューティング

CD ご使用に際してのご注意

取扱い

CD ディスクのどちらの面にも触れないで下さい。CD ディスクのエッジの部分のみで取り扱して下さい。

CD ディスクの大きな傷や汚れは、レーザーを痛めるため音飛びの原因となり、時には信号の読み取りを不可能にします。破損した CD ディスクは使用しないで下さい。

クリーニング

指紋や汚れがCDディスクに付着した場合、やわらかい綿の布（または同様のもの）でCDディスクの中心から外に向かって放射状に軽く拭き取って下さい。

保存

長期間にわたってご利用にならない場合には、CDディスクをトレイから取り出して専用ケースに入れて保存して下さい。

メンテナンス

LINN Classik T は長年のご使用に耐えるよう設計されておりますが、万一の修理、メンテナンスなどは LINN 製品のノウハウを持った LINN 販売店にお申し付け下さい。

警告：メンテナンスは必ず電源を切ってから行って下さい。

ヒューズ

リアパネル電源ソケット部にヒューズホルダーがあり、スペアヒューズも収納できます。ヒューズを交換する際には、正しいヒューズを選択するようにして下さい。

ヒューズを取り外す際には、まず電源を切ってACコードを本体から抜いて下さい。新しいヒューズが破損するようなら、Classik T 本体に欠陥がある可能性があります。

最寄のLINN取扱店までご相談下さい。

クリーニング

ほこりや指紋はやわらかい、湿った布で取り除いて下さい。市販のクリーニング用品のご利用はさけて下さい。

トラブル シューティング

ごくまれに操作ボタンを押しても**Classik T** がその動作を行わない場合がございます。これは主にお使いになる方が違ったボタンを押されたことによって生じたものと思われます。**Classik T** には4つのモードがございます。アンプ、CD、チューナー、そして時計機能です。初期設定はCDモードになっています。通常、CD演奏時 **VOLUME, BALANCE, BASS, TREBLE, MUTE** などのアンプ動作をした後のディスプレイは現在のCD動作状況を示す画面に戻ります。

故障かな、と思ったら？

以下は **Classik T** をご利用に際して、予想される症状とその解決方法です。

スピーカーから音が出ない：

スピーカーが正しく接続されているかご確認ください。また、ヘッドフォンをつないだままでは音がでません。ヘッドフォンプラグを挿入した状態でないことをご確認ください。

MUTE の文字がディスプレイに表示されていないことをご確認ください。

入力ソースが正しく動作していることをご確認ください。また、**Classik T** の電源が入っており(スタンバイモードになっておらず)、再生中の入力ソースが選択されていることをご確認ください。

入力ソースの変更ができない：

おそらく **RECORD LOCK** が作動している状況と考えられます。**RECORD** ボタンを押して、レコードロックを解除して下さい。

ディスプレイが Err 3 と表示し、動作が停止した：

アンプが熱くなりすぎたため、クールダウンするため自動的に停止した可能性があります。放熱や換気が十分であるか **Classik T** の設置状況をご確認ください。

Classik T の電源が切れている状態でクロック機能の設定ができない：

時計のバッテリーが劣化または故障している可能性があります。

リモコンによる操作に動作しにくい：

高感度なりモコン受信機能により、お部屋のどこにでも設置していただけますが、例外としてフロントパネルのリモコン受光部に直射日光、インバーター式の蛍光灯やハロゲンランプなどの直射照明が当たるような所は避けて下さい。

一般的に、リモコン対応の各種機器は上記のような場合にリモコンの動作障害を起こす事がありますのでご注意ください。詳しくは当社テクニカルサービスまでお問い合わせ下さい。

入力ソースのダイレクト選択やスタンバイ解除により誤動作がおきた：

スタンバイが解除された状態で誤動作が起きる場合は、ユーザー機能をご確認ください。相反するユーザー機能の設定により誤動作が起きていることが考えられます。変更前には本マニュアル、ユーザー機能設定のページをご確認ください。

テクニカル サポート

ご不明な点がございましたら、お気軽に下記までご相談下さい。

株式会社 LINN ジャパン
テクニカル サポート

フリーダイヤル:0120-126173

アフター サービス

製品に対するお問い合わせは正規販売店にご相談下さい。なお、許可なく改造や修理をされた場合には保証によるお取り扱いができないことがあります。

- 1 ご利用いただく前に必ずオーナーズマニュアル（本冊子）にて安全な利用方法をご確認下さい。
- 2 後々のご利用のため、マニュアルは必ず保管して下さい。
- 3 マニュアルには様々な注意点が書かれています。必ずそれらを守ってご使用下さい。
- 4 マニュアルの使用方法に従って製品をご利用下さい。
- 5 水の近く、例えば浴槽、洗面所、洗濯機等の近くに設置しないで下さい。
- 6 販売店のお勧めする台、ラックをご使用下さい。製品を可動式台に設置してのご利用は注意深く行って下さい。急に動かしたり、平らでない面に置いたりすると転倒の原因となります。
- 7 壁面、天井への据えつけは販売店にご相談下さい。
- 8 製品には換気が必要です。ベッド、ソファ、などの換気を妨げるものの上への設置、または埋込設置、キャビネットのなかへの設置などは、製品の換気を妨げることがありますのでお気をつけ下さい。
- 9 製品は熱を嫌います。ラジエーター、ヒーター、ストーブなど熱源のそばに設置しないで下さい。
- 10 マニュアルに記載、または製品に記された電源でのみ接続して下さい。
- 11 製品にはなるべくアースをおとり下さい。また、コンセントの極性にご注意下さい。
- 12 コードは製品につぶされないようご注意ください。またプラグ、ソケット、製品との接点にはご注意ください。
- 13 製品はオーナーズマニュアル（本冊子）または販売員のお勧めする方法にしたがってクリーニングを行って下さい。
- 14 クリーニングは **LINN** のお勧めする方法にしたがって行って下さい。（本マニュアル該当部分をご覧ください。）
- 15 電源ライン付近にアンテナを設置しないで下さい。
- 16 チューナー／レシーバーに屋外用アンテナを取り付ける際には、急激な電熱変化、静電気の蓄積を防ぐためにアースを取り付ける必要があります。
- 17 長期間ご使用にならない場合は、差し込み口からプラグを抜いて下さい。製品の内部に物や液体が入らないようご注意ください。
- 18 以下のような症状が発生した場合はすぐに最寄りの **LINN** 販売店までご相談下さい。
 - a) 電源コード、またはプラグが破損したとき
 - b) 製品の内部にもものが入った場合
 - c) 製品がぬれた場合
 - d) 正常に作動しなかったり、演奏中に表示が変わったりした場合
 - e) 製品が落下したり、内部に損傷が生じた場合

LINN の製品は、お買い求めになった国の条件の元に保証をされております。規定の条件に加え、製造段階における過失があった場合には、どの部分でも部品交換いたします。円滑な保証と修理をお約束するためにも、保証登録申込書のご記入とご返送にぜひご協力下さい。（ご返送先：株式会社リン ジャパン）

- **LINN** の製品の修理は、**LINN** 特約店にお任せ下さい。特約店以外で修理や部品交換等をなさいますと、製品保証が出来なくなりますのでご注意ください。
- 領収証はご購入日確認のため必要です。大切にお持ち下さい。
- 修理のための運搬時の破損はお客様のご負担とさせていただきますのでご注意ください。

詳細

寸法/重量	H80 x W320 x D325 mm 6kg
消費電力	最大: 325W 通常使用時: 25W スタンバイ時: 3W 以下
電源電圧(電圧許容限度)	100V (+/- 10%)
ヒューズ規格	125V/T6.3A Antisurge
AC アウトレット	連動(Switched) 440W 以下

CD エンジン部

レーザーピックアップ: 3 ビーム型
DA コンバーター: デルタシグマ型

チューナー部

周波数レンジ	FM 75.5 - 108.5 MHz AM 530 - 1730kHz
チューニングステップ	FM 50kHz (スキャン時 100kHz) AM 1kHz (スキャン時 9kHz/一部の製品は 10kHz)
プリセット	80 までのユーザー設定が可能
感度表示	0 ~ 50 段階
ミュート/スレッシュホールド	0 ~ 50 段階に設定可能

プリアンプ/入出力端子

入力	Aux/Tape1/Tape2 10dBV(感度)/10k Ω (負荷)
出力	出力レベル: AUX 入力と同等/インピーダンス: 100 Ω
Tape Out	出力インピーダンス: 150 Ω /最小負荷: 5k Ω
Pre Out	出力インピーダンス: < 8 Ω
ヘッドフォン	出力レベル: プリアンプ出力レベルと同等 最大出力電流: 60mA 負荷インピーダンス: 8 Ω ~ 2K Ω

パワーアンプ部

ゲイン +28.5dB
出力 75W/ch (4 Ω)

カラーバリエーション

BLACK	ブラック
SILVER	シルバー
ARCTIK WHITE	アークティック・ホワイト
PACIFIK BLUE	パシフィック・ブルー
ATLANTIK GREEN	アトランティック・グリーン



総輸入代理店
株式会社 リン ジャパン

フリーダイヤル: 0120-126173